

20代委員による政策提案(たたき台)

0. この機会を設計した背景

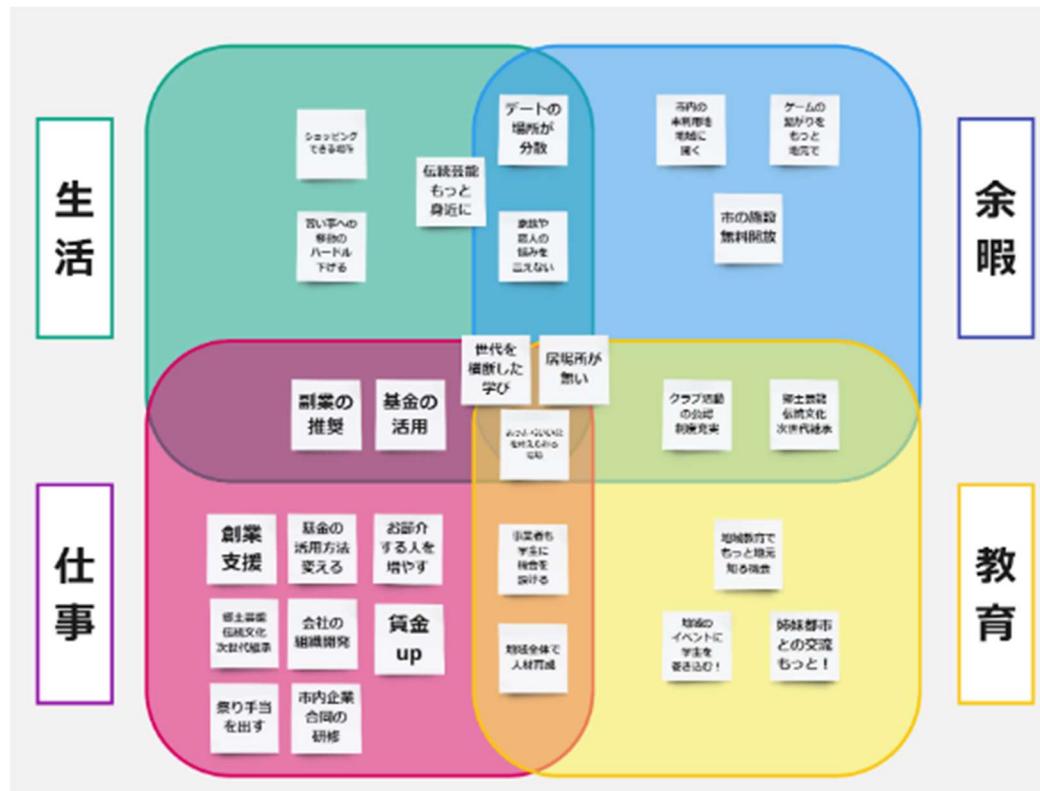
本委員会では、教育・産業・行政さまざまな分野でご活躍されている委員のメンバーで構成されていますが、各委員御多忙な中、折角貴重な機会にも関わらず、この場で話された様々な意見は具体的な施策提案の段階まで進むことが難しい状態にあると考えます。そこで、今回は本委員の20代のメンバー(栗林・鈴木・小田桐)三名の活動分野から、馴染みのある4要素をもとに話し合いをすすめ、証拠に基づく政策立案を意識しながら〇〇の政策をここにご提案します。

今は色々なアイデアを提案するフェーズにある

具体的でも抽象的でも、とにかくたくさん出してもらえるようなフェーズ

1. 検討イメージ

本委員会のキーワードである「自己実現」と、アンケート結果をもとに、以下の4要素ごとに分類分けした。その要素ごとに、自己実現に繋がる機会をどのように創出できるかを各委員の視点で案を出し合った。



その根本にある課題は、以下の3点いずれかがすべての課題の背景にあると推察した。

1. お金がない

お金を稼ぐことに精一杯である。もしくは機会にアクセスするためのコストを気にするケース。

2. 時間がない

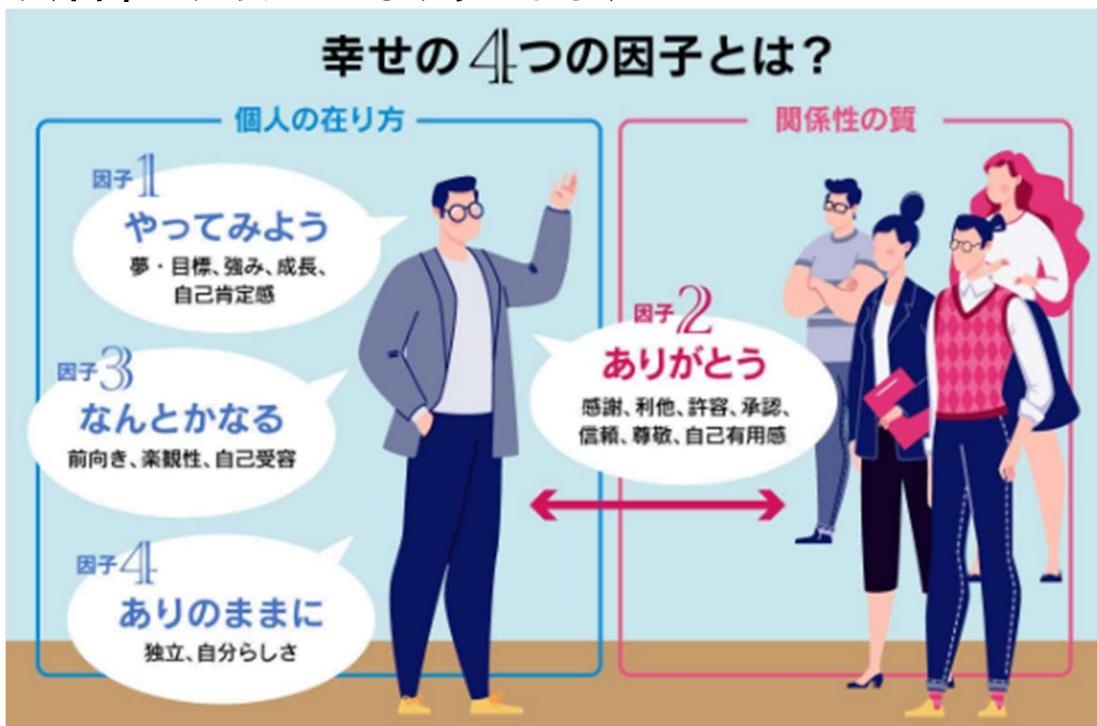
物理的に時間に余裕がない状態。もしくは、タイプの観点で行こうと思わないケース。

3. 友達がない

潜在的に機会を必要としていても、そこにアクセスするための人脈がないケース。

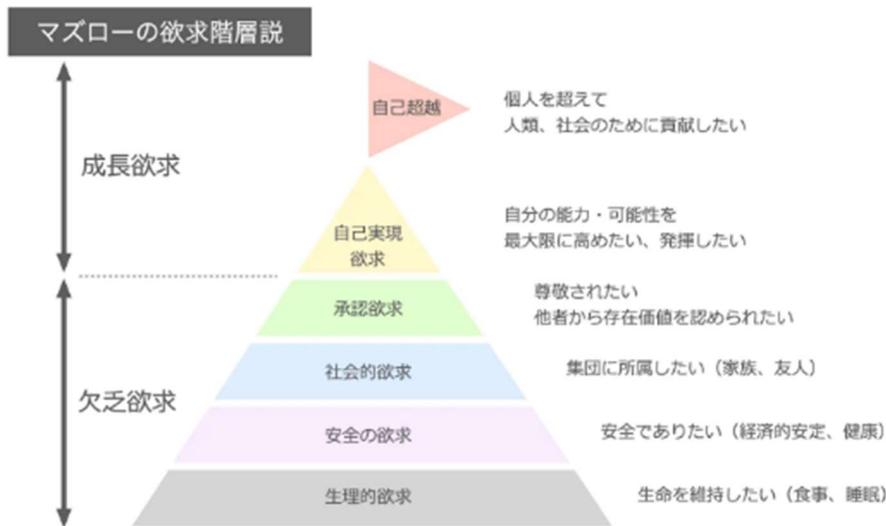
テーマ(案):

自分の未来を自分で切り開く、八戸チェンジ、八戸新時代、
八戸だからできる体験、地域で〇〇を育む、
ウェルビーイングのきっかけ、アクションのきっかけを育む生態系づくり、日本一チャレンジしやすいまち、



出典: 幸福度を上げる「幸せの4つの因子」/前野隆司 | マイナビニュース

マズローの欲求階層説



【やってみよう！】

提言：若者の主催者及び学生が市内の機会にアクセスしやすくなるための仕組みづくり

①公共交通期間をもっと気軽に使える仕組みづくり

●現状課題

- ・足が無いことで遠出してでも活動したいと思える環境がない
- ・保護者の車での送迎が大変
- ・自転車は坂が多く乗りづらい
- ・八戸市は広いため、公共機関を使っても乗り換え等で一苦労

●期待する展望

行きたいところに簡単にアクセスできるような状態

●施策実施に対する懸念点

- ・お金がかかりすぎる
- ・子供の運動不足に繋がる？
- ・仮に全校にハチ力を配った場合、トラブルのもとになる可能性がある

●それでも...以上を踏まえた委員からの提案

1. ハチ力の市内乗り放題チケットを全学生に配布
2. 子供タクシー制度を実施し、バスでの移動が困難な場合にも対応

②市内の施設の無料開放

●現状課題

- ・八戸市のクラブ活動が地域移行していく中で、その活動場所がない
- ・気軽に運動できる場所がない
- ・冬なども活動したい

- ・ラウンドワンで運動をしたくて盛岡まで行く

●期待する展望

若者が体を動かしながら自己実現できる場を、まち全体で醸成していく

●施策実施に対する懸念点

1. セコム等の防犯対策において、学校の校舎と体育館が一体となっていないか
2. この施策を受け入れてくれる学校の組織体制
3. 地域のニーズと整合しているか
4. 1校あたりの設置について約2~10万円かかると予測されるがその投資対効果があるか
5. 防火や防犯対策がとれているか

●主な事例(阿蘇市)

【熊本県阿蘇市】屋外公共施設をスマートロックとキーボックスで管理

→デジ田を活用し、提言1、●、●を組み合わせた DX×文化創造のまちづくり的な構想をもって進めていけたらよいなど妄想しました。

●以上を踏まえた委員からの提案

中心街にほど近いモデル校1校程度で以上の条件が合う学校の体育館で実証、地域のクラブや市民活動団体に解放し、スポーツやイベントが気軽に行えるようなまちを目指す。

③もっと、部活やクラブに参加しやすいまちに！

●現状課題

- ・保護者のパワハラやクレームがあることで、どの競技も進めづらいことに…

●期待する展望

学生や若者の挑戦したい！という気持ちを実現できるまちに！

●施策実施に対する懸念点

- ・予約管理を進めるまでの難しさ…
- ・予約するのだけでめんどくさい
- ・どの部署でどの予算でお金を捻出するのか

●以上を踏まえた委員からの提案

1. 八戸市の各課で主催する機会に関して、専用の応募フォームを投資して作成し、気軽に機会にアクセスできるような状態を創る
2. お祭りなど観光系の地域参加に関して、コミュニケーションコストが相当数かかるので、VISITはちのへ でその情報を集約し、機会の予約管理を行う

【やってみよう！】

提言：地域に根差した福利厚生

①社会人でも気軽に地域に出て活動できている状態

●現状課題

- ・お祭りに参加したくても参加できない環境にある

- ・繁忙期等と重なり、物理的に参加できないことも…
- ・企業によってはお祭り休日の取得を奨励している会社もあるが、社内の同調圧力やお祭りの大変さを理解されないこともある…

●期待する展望

お祭り期間中(とりわけ三社大祭とえんぶり)に、これまで仕事がきっかけで地域の郷土芸能に参加出来ていなかった会社の社員が、もっと気軽に地域に出て活動できている状態
また、CSR的な観点で企業の強みとしても活用できる状態

●施策実施に対する懸念点

- ・現実性があるのかは企業側の視点を入れないと分からない
- ・社内の同調圧力やお祭りの大変さを理解されないこともある

●以上を踏まえた委員からの提案

1. お祭り休暇をとる企業に対して有給休暇取得の1/2の額を補助
2. 市役所内でお祭り休みを実施8/1と2/17は市役所を休む
3. 企業単位でのお祭り強制参加

②地域内企業への副業を解禁

●現状課題

- ・副業が禁止であることから、金銭的な余裕を作りづらい
- ・自己実現や社会貢献のための活動ですら制限される

●期待する展望

市内で副業・兼業が可能な企業を増やしていく

●施策実施に対する懸念点

- ・副業の結果、本業がおろそかにならないための仕組みづくり
- ・労務上、税務上のタスクを会社でまかなえるか
- ・労働災害等のリスクに繋がらないかどうか

●以上を踏まえた委員からの提案

1. 会社内で副業を可能にする

【ありがとう！が連鎖する】

提言：地域の人事部機能の発足

①合同企業見学会の実施

→デーリー東北新聞社の「リクルートラウンジ」がそれに該当

②合同企業研修会の実施

●現状課題

- ・人材育成まで手が回らない零細企業の対応
- ・ほとんどの会社は員が少なく、気軽に話しやすい人に相談できる体制が整っていない

●期待する展望

目指すは、組織に縛られず、ジブンゴト化した状態で各職場で働くようなマチ。そのために、地域全体で支え合う研修の仕組みを作ることで、これまでとは違う成長プロセスを辿れるようにする

●施策実施に対する懸念点

- ・合同企業研修をする上での適任の人材は？
- ・繋がっても、ジブンゴト化されるまでのコーディネートが必要になる

●以上を踏まえた委員からの提案

1. 合同研修会の実施
- 2.
- 3.
- 4.

③地域内同期が集まる限定イベントの実施

●現状課題

●期待する展望

●施策実施に対する懸念点

●以上を踏まえた委員からの提案

活動していく

【やってみよう！】

提言：空き家・空きスペースの利活用による市民活動のきっかけを育む

①空き家バンクのレパートリーを増やす

●現状課題

- ・空き家がどんどん増えていく
- ・買い手と売り手のアンバランス感
- ・買い手のニーズが合わないことが多い

●期待する展望

都市政策課内に調査員を設け、空き家・空き地の調査を強化する。空き家のほぼすべての調査を行い、空き家バンク登録者を増やすことで、近年増加傾向にあるリノベーション等で空き家を利活用したいというニーズに答えられるような政策を実施する。

●施策実施に対する懸念点

- ・空き家対策に関するお金をどこから捻出するか
- ・1案件ごとの事務手続きがかなり面倒

●以上を踏まえた委員からの提案

- ・都市政策課内に選任の調査員を設け、空き家バンクの更なる発掘に務める
- ・空き家バンクと逆に、買い手のリストを作成し、売り手のニーズに合わせて買ってほしいひとを選択できるようにする
- ・空き家バンクを登録したいと思えるような施策

②八戸市が管理する施設を無料開放

●現状課題

- ・八戸市で遊べるところが少ない
- ・結果、ラウンドワンなどの商業施設などに行きたいと感じるようになる

●期待する展望

毎週1回～1月に一回程度、市が(指定管理も含む)管理する施設内の無料開放日もしくは開放時間を定め、若者が気軽に室内での活動を行えるようにする。その結果、これまでとは違った機会の活用が生れ、新たなきっかけを醸成する

●施策実施に対する懸念点

- ・誰がこの準備をするのか
- ・施設の管理費用をどこで負担するのか
- ・ケガ等の安全面をどのように担保するのか
- ・営業等の悪い影響の懸念

●以上を踏まえた委員からの提案

1. 長根、東運動公園の体育館の午前中だけでも、無料開放デーを設ける！
2. スポーツの道具(バスケやバレーの器具等)を無料で貸出
3. 学生も社会人も、互いにまじりあうような空間をデザイン
→10分交代等の使用上のルールや一緒にやる等のルールなど？

【やってみよう！】

提言：八戸モデルの市民活動の在り方を全国へ！

①5年後の八戸市市民活動サポートセンターの在り方を見据えた若手市民活動団体のコミュニティ

●現状課題

- ・市民活動団体として登録している団体の多くは、高齢者が主体であることが多い。
- ・一方で、若者主体の活動団体はそもそも母数が少ない
- ・若者がひきつけられるようなコミュニティや活動が少ない
- ・5年後の令和12年を迎えるころには、八戸市市民活動サポートセンターの登録団体は様変わりすると予測→今のうちに活動団体を増やさないと消滅の危機

●期待する展望

これまで八戸市では、「せんべい汁”研究所」や「まちぐみ」など、市民活動における全国的な先進事例を多く育んできた稀有なまちである。地域の人や文化が織りなすこのムーブメントは、次世代に繋ぎ、健やかで生きがいが溢れるためのまちの機能として今後も機会を造成していかなければならぬ。

●施策実施に対する懸念点

- ・現在、若者主体の市民活動団体が少ない状況にある

●以上を踏まえた委員からの提案

②町内会制度の変革

③共同のまちづくり推進基金の活用について

●現状課題

●期待する展望

●施策実施に対する懸念点

・金銭的な問題

【参考】[協働のまちづくり推進基金の運用状況／八戸市](#)

●以上を踏まえた委員からの提案

【やってみよう！】

提言：若者の背中を一押しし、アクションのきっかけを育む生態系づくり

①気軽に起業をしようと思える環境づくり

●現状課題

・8サポ meets では3つのプロジェクトに分かれ、起業家を創出するためのプラットフォームが敷かれたが、そのきっかけづくりまでは見れていない。

・起業したくても、地域内の繋がりがなく、孤立状態の若手起業家が多い

●期待する展望

・全てを許容し、みんなで生業を作ることを応援し合える機会としての定點を作り続ける

●施策実施に対する懸念点

・運営主体によって、意味のない場になってしまう

・運営費の捻出

→移住定住系の予算を活用し、八戸市内外の人が交わる KPI？

●以上を踏まえた委員からの提案

・月に一度ほど、ラフに異業種、多世代、肩書の関係ないごちゃまぜのパーティを開催

・いつでも繋がり合える空間を設ける（エスタシオンのような場所を想定）

②学校以外でも学びたいと思える環境づくり

●現状課題

●期待する展望

八戸市中心街に中高生だけの第三の居場所であるユースセンターを開設し、学生の自己実現のきっかけを育む、地域のお兄さんお姉さんとの出会いを創出する

【参考事例】：山梨県韮崎市 NPO 法人河原部社の「ミアキス」の事例

[半分教育×半分ナリワイ。教育副業の形とは？ 韮崎市の青少年育成プラザ「ミアキス」での働き方を聞きました](#)

●施策実施に対する懸念点

●以上を踏まえた委員からの提案

【やってみよう！】

提言：文化系の援助

●現状課題

・体験の格差

・文化の継承

「入場料や、内容によって祭りの法被とか無料だと来られるのに...」という声は結構ある

「格差が生まれている」

「文化事業で生計を建てるのは難しい」

・力ネ

「補助金をとるには、マンパワーがかかる...」

・マンパワー

「マンパワーかけすぎると補助金が必要になる」

・親が継承しないと続かないところに

「子どもの友達伝えに広がっていく可能性もあるのかもしれない」

・送り迎えがネックになって、来られない

・大人は有料、子供は無料とかにすると結局疲弊する...

・利益がない状態の団体に対してどう対応していくのか

●期待する展望

●施策実施に対する懸念点

●以上を踏まえた委員からの提案

・市の方でクリーニング代を徴収する

・組ごとに魅力的な事業を行い、ヒトやお金が集まるようになる

・ふるさと納税的に VISIT の ひっぱり隊 制度の値付けを上げてその余剰分を各組の

・部活の地域移行に八戸独自の魅力ある部活を設ける

→お祭り部、三社大祭部、えんぶり部などなど